

桑名市議会議長
渡 邊 清 司 様

第2班 班長
伊 藤 研 司 印

議会報告会実施結果報告書

開催日時	平成27年10月23日（金）18時30分～20時27分		
開催場所	多度町総合支所 2階会議室		
出席議員	班 長	伊藤 研司	
	司 会	辻内 裕也	記録者 大森 啓
	倉田 明子	水谷 義雄	石田 正子
	飯田 一美		
参加人数	39人		
議会報告の概要	1、開会 2、挨拶 自己紹介 諸注意、録音他 3、報告・説明 6.9月定例会の概要 平成26年度決算状況 調査研究結果・事業評価 質疑・意見等 4、意見交換 テーマ「桑名市の目指すまちづくりについて」		
主な意見・要望	・財政状況について ・財政指標（過去10年間の推移）について ・商工会について ・多度地区の活性化・地域コミュニティについて ・山除川（やまよけがわ）護岸整備について ・獣害対策について ・まちづくりの方向性について ・介護関連施設について 他		
備 考			

議会報告会記録

【第2班】

(1/4)

開催日時	平成27年10月23日(金) 18時30分～20時27分	
開催場所	多度町総合支所 2階会議室	
参加人数	39人	
議会報告に対する質疑応答	質 問	回 答
	<ul style="list-style-type: none"> ・資料P10、(6) 財政指標(経常収支比率)、(7) 健全化判断比率(実質赤字比率外3指標)について市議会の意見・評価を含め説明していただきたい。 また、将来、市の借金(起債)は増えていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健全化判断比率の4指標は、夕張市の財政破綻を受け国が示すようになった。桑名市が直ちに夕張のような状態になる事はない。将来負担比率は平成25年度と比較し、「-8.5%」改善された。 経常収支比率「99.7%」は、「+1.9%」の結果となった。財政の硬直化を示すもので新たな事業展開ができない状況にあり「90%」以下が望ましく、今後も注視していく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・資料P5、議案第83号「桑名市多度すこやかセンター条例の一部改正」について修正案を含め、議会内での議論を説明していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この議案を含め高齢者向け入浴4施設を「無料」から「使用料200円」を徴収する議案が上程された。多度すこやかセンターでは、年間242日の使用で232名の利用がある。受益者負担の原則もあるが、200円の設定は高いのではないかと議論を経て、修正案のワンコイン「100円」となった。 議案反対の理由は、200円は安すぎるや徴収そのものに反対等による。
<ul style="list-style-type: none"> ・今回、多度すこやかセンターの浴場「有料化」の説明があったが、前回の議会報告会では、多度福祉会館の施設廃止の議案もあった。市は福祉施策推進の立場にあるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多度福祉会館は、施設老朽化や耐震化経費に相当の経費が発生し、また健康増進施設が計画されていることもあり施設廃止となった。 	

	質 問	回 答
議会報告に対する質疑応答	<ul style="list-style-type: none"> 資料P1、マイナンバー制度への対応(1,013万円)の補正予算の記載がある。国が実施するものと思っていたが、市が行うのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 国が実施するもので、それに伴い市がシステム等の改修を行う経費である。基本的に国の財源で行っている。間もなくマイナンバー通知も送付されてくると思う。
	<ul style="list-style-type: none"> 資料P10、平成26年度桑名市決算(4)歳出の款別一覧で総務費は対前年度比「+14%」となっており他と比較し高い。その要因は。 	<ul style="list-style-type: none"> 市役所本庁舎耐震化工事・選挙等によるものである。
	<ul style="list-style-type: none"> 資料P10、(6)財政指標関連について、平成25・26年度の比較しかされていない。合併後、過去10年間の推移(グラフ化)や将来の目標値も示していただきたい。市議会として財政をいい方向へ導いてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 市議個人として指摘された財政指標のリストは持っている場合もある。市としては、市民の皆さんに財政パンフレットを発行し市の財政状況を周知している。ご指摘の件も含めて、過去の比較等ができるように検討していきたい。財政のみを考え事業を何もしなければ、経常収支比率等は改善されるが、市民サービスの向上はできず、これらを考慮し事業展開をしていく必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> 資料P12、家庭用新エネルギー普及支援事業について、農地での太陽光発電も対応可能な事業なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> これは一般家庭の屋根に設置する太陽光発電に対する支援事業であり農地を想定したものではない。
	<ul style="list-style-type: none"> 農地でも事業用太陽光発電事業が可能な市からの普及支援事業はないのか。海津市では農地でも可能な場所もあると聞いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見等としてお聞きし調査研究をすすめたい。

参加者からの 意見・要望等	<p><意見交換>個人的意見を含め答弁 (※「⇒」は、発言した各議員の要旨)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桑名三川商工会を含め団体に対する市補助金も削減される中、商工会は商工会議所と合併すべきとした議論もあると聞く。商工会議所との合併により疲弊した商工会加入業者等もいたという事例も聞いている。設立に関する法律も違い、国においては「小規模企業振興法」、県では「小規模企業振興条例」も施行されている。両団体加入企業の経営規模の差は大きく市として商工会や小規模企業に対する支援策はどうか、市議会も考えていただきたい。
	<p>⇒・両者で課題を解決し合併すべきと考える。一市議として、多度地区で多度山再生・間伐や多度地区で障害者雇用の場の確保を六次産業としてできないかと取り組んでいる。多度地区には壬申の乱・天王平等、東アジアに発信できるものがある。</p> <p>過去に実現に至らなかったが、耕作放棄地で「そば」を生産し、多度大社周辺の空き店舗を利用し「そば店」を出店し活性化できないか市へ提案をしたことがある。</p>
	<p>⇒・両者は、設立に関する法律や加入企業の経営規模の相違がある。合併10年を経過したから商工会議所と商工会は合併すべきという議論は早急であり、地域活性化を含め対等な立場で議論をすべきと思う。</p>
	<p>⇒・商工会でも多度と長島が合併したが様々な面で温度差等の違いを感じる。商工会と商工会議所の合併に関しては、議論が必要である。観光協会の合併の方が、早期に可能とも考えられる。</p> <p>多度地区の活性化に関しては、過去に多度町活性化協議会で発想されたものを具現化していくことが必要ではないか。商工会が市に対して活性化を目指し、積極的な発信や事業協力を求めていくことが必要と考える。商工会も含め多度運動会等の補助金のカットが続き、経緯等について尊重されているとは必ずしも言えないと思う。</p>
	<p>⇒・商工会の活動・発展に尽力された歴代の役員の皆様に敬意を表したい。この事業・目的に向かって商工会は進んでいくという強い意志を見せていただきたい。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・山除川（やまよけがわ）の河川敷に農地（個人所有）が広がっている。護岸が崩れ地元の境川土地改良区事務所と協議の上に、10月14日（14:00）県と立ち会いをした。県から「護岸も個人所有の土地であり個人での対応」と指摘を受けた。昭和48年に河川法による県管理河川とされているが、改良区賦課金・固定資産税も納付しており、これらに配慮された県の対応とは思えない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・(※議会報告会（多度）H25.11.1において同様の意見があり、その後、議会で質問され「ご指摘の状況は把握している。護岸整備等について県へ要望等をしていく。対岸は岐阜県（海津市）であり行政間の協議の場の設置も検討したい。」と答弁があった。)
	<ul style="list-style-type: none"> ・市が介護関連施設の整備を目指し募集した結果、多度地区で整備を目指した施設が選定されなかったと聞いている。多度地区での整備にご協力をお願いしたい。

<p>・ 獣害対策について予算確保も含め市議会も真摯に取り組んでほしい。耕作放棄地が発生する可能性もある。</p>
<p>(※獣害対策について、これまでの議会においてその対策等、様々な議論・提案等がなされている。)</p>
<p>・ 多度地区の地域活性化策や地域性を活かしたまちづくりを推進してほしい。多度福社会館の廃止や多度町運動会の中止等、過去の経緯や地域コミュニティを尊重したまちづくりが推進されているとは言い難い。</p>
<p>(※多度地区の活性化等について、これまでの議会において多度大社周辺・多度山再生等の議論・提案等がなされている。)</p>
<p>・ 市の財政状況は厳しいことは承知している。その中、東京PR事務局の費用対効果はあるのか。</p>
<p>⇒ ・ 総務安全委員会で「おのぼりさんブランドではないか。」「地道な活動が桑名市のPRになる。」等の議論があった。</p>
<p>・ 桑名市はどこに向かい何をしようとしているのか、市民には見えてこない。こうした質問をすると市ホームページに総合計画が示されている等の回答しかない。</p>
<p>⇒ ・ 市長が選挙で示した7つのビジョンに行政改革大綱を含め桑名市総合計画は立案された。これを元にまちづくりが推進されていく。</p>
<p>・ 市民病院がどう整備されるのか。健康増進施設は整備されるのか。地域コミュニティは衰退していくのではないかと様々な疑問がある。</p>
<p>⇒ ・ 市民病院は、平成30年4月にオープンする。健康増進施設は、公募したが募集期間が短かったことから応募者が無かったが、数社から募集(検討)期間の延長を求める要望が出され、現在それを精査中である。多度福社会館の廃止に伴い、地域コミュニティが衰退することがあってはならない。</p>
<p>⇒ ・ 本年の3月議会で過度な経費削減や、80億円ともいわれる桑名駅東西をつなぐ自由通路に関する疑問視される等して平成27年度一般会計当初予算が委員会で否決され、本会議では修正案を可決している。</p>
<p>・ 本日の議会報告会のテーマは「桑名市の目指すまちづくり」であるのに、多岐にわたる意見交換がされなかった。議会報告会のあり方を検討してほしい。</p>